



受付第 0 1 A 3 1 3 9 号
受付日：平成 1 4 年 2 月 2 7 日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成 1 4 年 5 月 3 1 日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野中幸
埼玉県草加市稲荷町 2 番 2 0 号



試験名称	木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋 7 1 7 番 1 号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ホールドコーナー HC-10 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：図-3参照 材質：SUS430 CS (JIS G 4305) 表面処理：ダクロタイズド処理 2. 接合具 柱側木ねじ：2#角ビット皿スクリュー 6-φ6.0×60mm 横架材側木ねじ：2#角ビット皿スクリュー 7-φ6.0×60mm 材質：SWRCH22A (JIS G 3507)相当品であり、下記の化学成分を満足する。 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズド処理 3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；14.1~29.1%，密度；0.37~0.51g/cm ³ 横架材：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；13.3~34.5%，密度；0.37~0.52g/cm ³ 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1~図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2.「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(P _{0t})：12.7kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三(ハ)に定める 10kN用引き寄せ金物（必要耐力10.0kN）に該当する。
試験期間	平成14年 3月 4日 ~ 5日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本 敏 男 試験責任者 川上 修 試験実施者 室 星 啓 和 ， 守 屋 嘉 晃
試験場所	中央試験所